

2017年3月期 通期決算説明会

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～



日東工業株式会社

証券コード: 6651

(平成29年6月2日開催)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
また、表記の都合上、公表している数字とは異なる場合があります。

目次

2017年3月期
通期

1 2017年3月期 通期決算概要

2 2018年3月期 通期業績予想

3 中期経営計画

4 参考資料

1 2017年3月期 通期決算概要

2 2018年3月期 通期業績予想

3 中期経営計画

4 参考資料

通期連結決算ハイライト

2017年3月期
通期

- ✓ 連結業績は、減収減益も通期計画は達成
- ✓ 売上高は、日東工業が大幅減収となるも、買収した海外配電盤メーカーの連結効果などで微減
- ✓ 営業利益は、日東工業の減収インパクトから大幅減益へ
- ✓ 中国工場および不動産信託受益権の売却で特別利益を計上

(単位: 百万円)

決 算 期	2016/3	2017/3			
	実績	※計画	実績	前期比 増減率	計画比 増減率
売上高	108,463	106,000	106,627	△1.7%	+0.6%
営業利益	11,264	6,200	6,598	△41.4%	+6.4%
経常利益	10,937	5,900	6,402	△41.5%	+8.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,402	4,200	4,506	△39.1%	+7.3%

※2016年10月31日修正

通期 セグメント別 決算ハイライト

2017年3月期
通期

(単位: 百万円)

	部門別	2016/3	2017/3			
		実績	※計画	実績	前期比 増減率	計画比 増減率
売上高	配電盤関連製造事業	78,067	74,500	73,534	△5.8%	△1.3%
	情報通信関連流通事業	27,617	28,800	30,493	+10.4%	+5.9%
	工事・サービス事業	2,778	2,700	2,599	△6.5%	△3.7%
	合計	108,463	106,000	106,627	△1.7%	+0.6%
営業利益	配電盤関連製造事業	10,269	—	5,399	△47.4%	—
	情報通信関連流通事業	870	—	1,065	+22.4%	—
	工事・サービス事業	132	—	133	+0.4%	—
	合計	11,264	—	6,598	△41.4%	—

※2016年10月31日修正

通期 配電盤関連製造事業(部門別)

2017年3月期
通期

(単位: 百万円)

部門別 売上高		2016/3	2017/3			
		実績	※計画	実績	前期比 増減率	計画比 増減率
配電盤関連製造事業	配電盤	45,007	43,400	42,830	△4.8%	△1.3%
	キャビネット	21,642	21,100	21,025	△2.8%	△0.4%
	遮断器・開閉器	5,014	5,200	4,747	△5.3%	△8.7%
	パーツ・その他	6,403	4,800	4,931	△23.0%	+2.7%
合計		78,067	74,500	73,534	△5.8%	△1.3%

※2016年10月31日修正

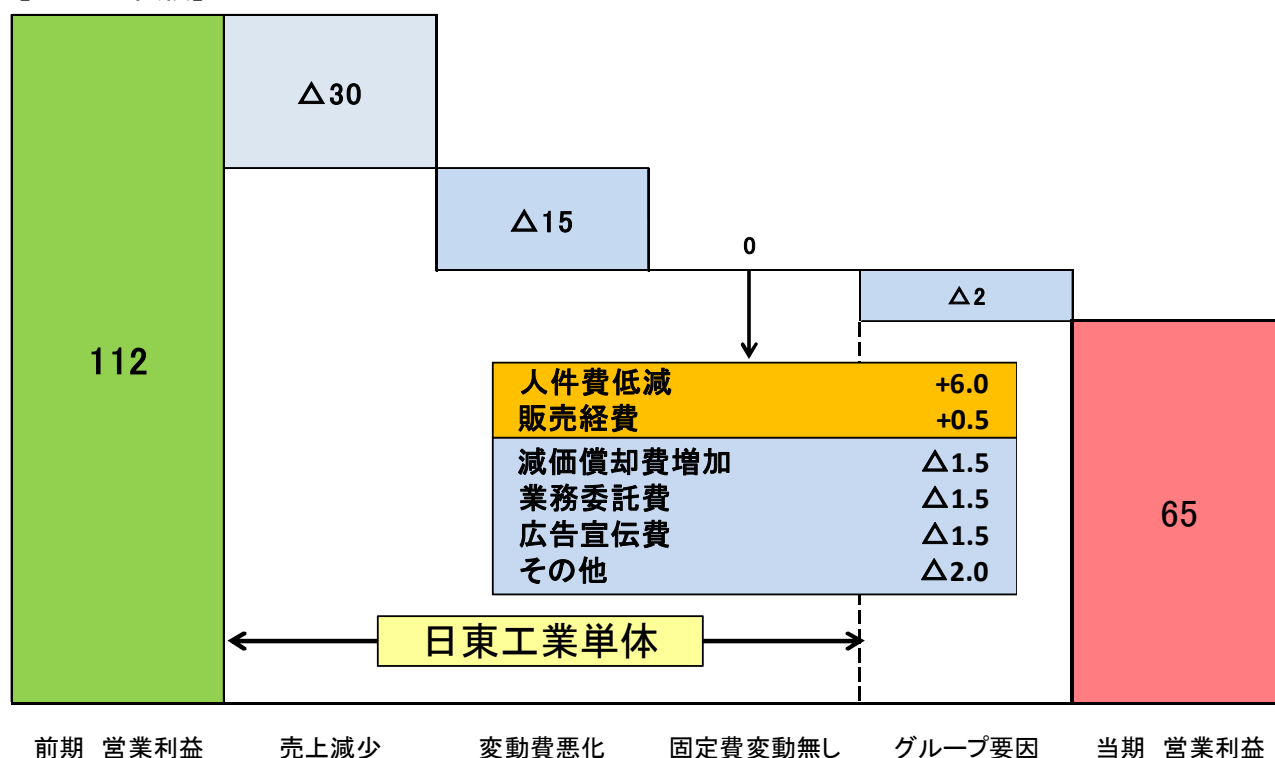
通期連結営業利益の増減要因

2017年3月期
通期

(単位: 億円)

【2017/3 実績】

【2016/3 実績】



通期連結キャッシュ・フロー計算書

2017年3月期
通期

(単位: 百万円)

	2016/3 実績	2017/3 実績	前期比増減額
現金及び現金同等物の期首残高	18,839	21,606	+2,767
営業活動によるCF	8,242	9,787	+1,545
投資活動によるCF	△2,874	△4,336	△1,462
財務活動によるCF	△2,520	△1,771	+749
現金及び現金同等物の期末残高	21,606	25,138	+3,532

<主な増減内容>

■ 営業活動によるCF

・税引前利益減少	△3,968
・売上債権の減少	+1,074
・たな卸資産の減少	+1,323
・固定資産売却益の増加	△688
・未払消費税額の増加	+1,182
・法人税等の支払額減少	+2,297

■ 投資活動によるCF

・有形固定資産の取得による支出の増加	△3,887
・信託受益権の売却収入の増加	+1,911

■ 財務活動によるCF

・中間配当金支払額の減少	+644
--------------	------

※数値は前期比増減額

通期連結資産の概要

2017年3月期
通期

(単位: 百万円)

	2016/3 実績	2017/3 実績	増減	主な増減要因
流動資産	61,921	62,552	+631	■ 資産 ・建物、機械、土地等の取得(+2,851) ・のれんの償却(△1,005)
固定資産	38,184	39,319	+1,135	
資産合計	100,106	101,871	+1,765	
流動負債	19,469	18,256	△1,213	■ 負債 ・買入債務の減少(△256) ・未払法人税等の減少(△607) ・賞与引当金の減少(△247)
固定負債	1,490	1,462	△28	
負債合計	20,959	19,719	△1,240	
純資産合計	79,146	82,152	+3,006	・当期純利益(+4,506) ・配当(△1,901)
負債資本合計	100,106	101,871	+1,765	

※Gathergates社は2016/3月期末にB/Sのみ連結済み

(参考) 新エネルギー関連市場の売上動向

2017年3月期
通期

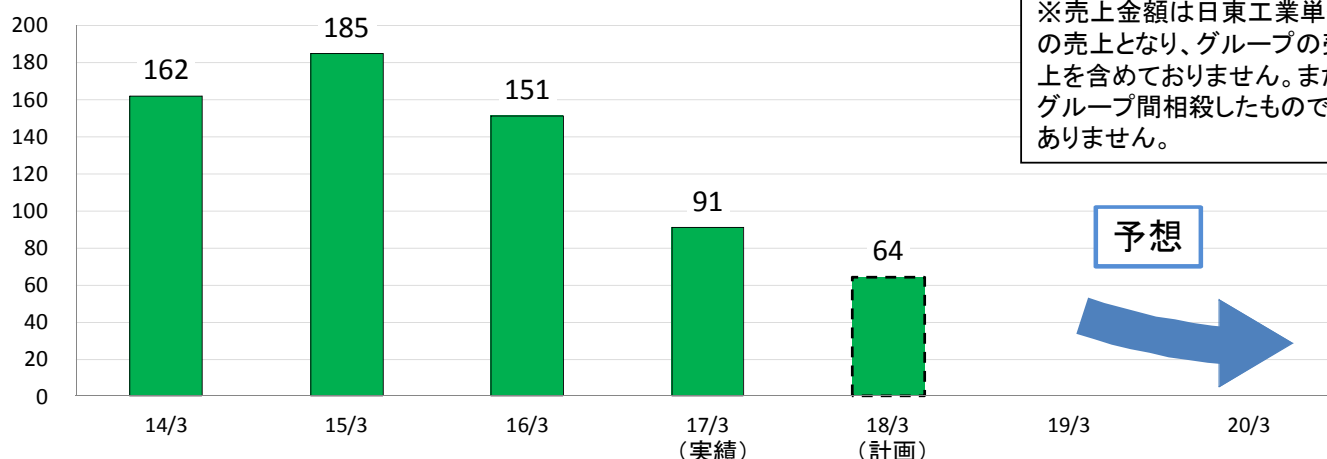
(日東工業単体参考)

「新エネルギー関連市場」とは

- ①太陽光発電関連(接続箱、集電箱など)
- ②自動車関連(充電スタンド)
- ③その他: エネルギーマネジメントシステム関連など

(単位: 億円)

<新エネルギー市場関連 売上>



※売上金額は日東工業単体の売上となり、グループの売上を含めておりません。また、グループ間相殺したものではありません。

1 2017年3月期 通期決算概要

2 2018年3月期 通期業績予想

3 中期経営計画

4 参考資料

通期連結業績予想

2017年3月期
通期

- ✓ 通期連結業績は増収減益を計画
- ✓ 日東工業単体の業績は減価償却費の増加分を吸収し増収増益計画も、情報通信関連流通事業の減益見込みなどから、連結では減益を見込む

(単位: 百万円)

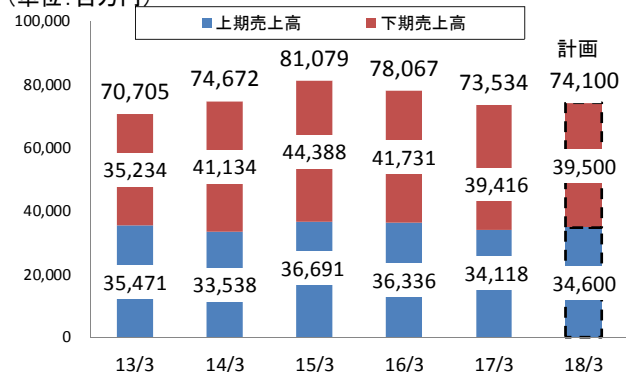
決 算 期	2017/3		2018/3			
	2Q実績	通期実績	2Q計画	前期比 増減率	通期計画	前期比 増減率
売上高	48,835	106,627	49,300	+0.1%	107,000	+0.3%
営業利益	2,229	6,598	2,000	△10.3%	6,400	△3.0%
経常利益	2,113	6,402	1,900	△10.1%	6,200	△3.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,818	4,506	1,200	△34.0%	3,800	△15.7%

業績予想 セグメント別(配電盤関連製造事業)

2017年3月期
通期

◆配電盤関連製造事業 通期予想 74,100百万円(前期比 +0.8%)

(単位:百万円)



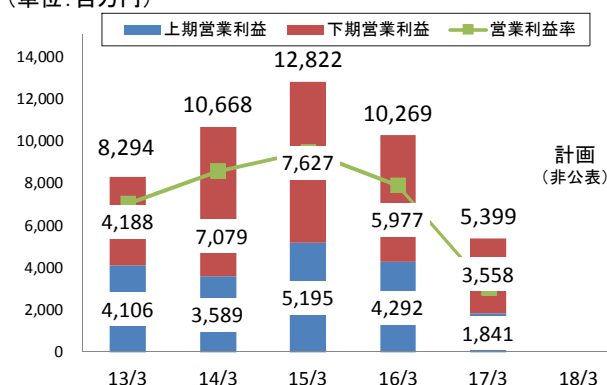
【通期予想】

- ・日東工業単体の売上は微増計画
- ・新愛知電機製作所は増収見込むも大洋電機製作所などは減収計画

【取り組み】

- ・有力新製品(アイセーバコンパクト、感震機能付ブレーカー)のマーケティングならびに拡販

(単位:百万円)



【主要グループ会社:通期見通し】

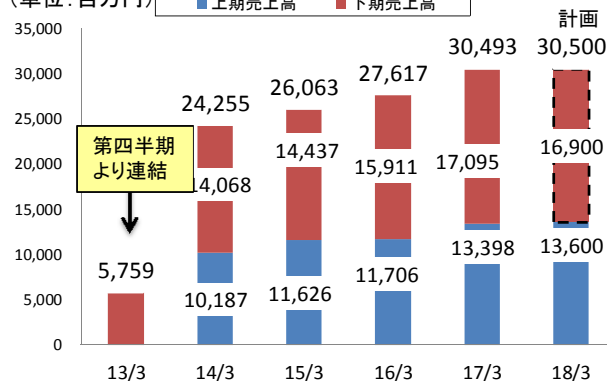
	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	日東工業(株)			大
	(株)新愛知電機製作所			小
	(株)大洋電機製作所			小
海外	日東工業(中国)有限公司			小
	Gathergates Group Pte Ltd			小

業績予想 セグメント別(情報通信関連流通事業)

2017年3月期
通期

◆情報通信関連流通事業 通期予想 30,500百万円(前期比 変わらず)

(単位:百万円)



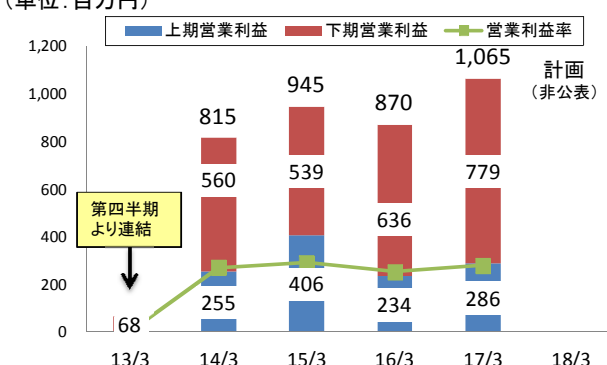
【通期予想】

- ・監視カメラ需要は堅調に推移する見込み
- ・太陽光関連商材の売上はピークアウトの段階ではあるが、相当程度の需要は継続

【取り組み】

- ・ネットワークカメラ案件の獲得拡大を目指す
- ・太陽光関連商材の確実な受注活動

(単位:百万円)



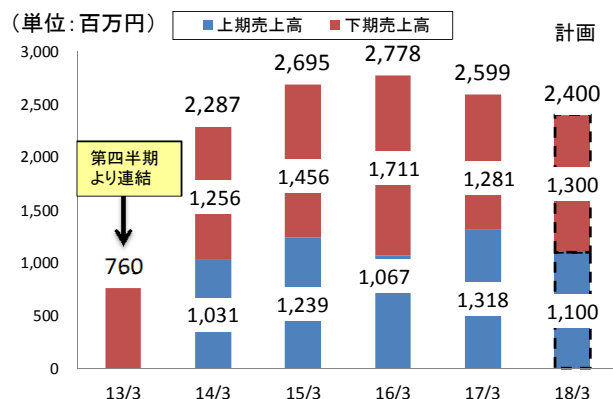
【主要グループ会社:通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	サンテレホン(株)			中
海外	NITTO KOGYO TRADING(THAILAND)			小

業績予想 セグメント別(工事・サービス事業)

2017年3月期
通期

◆工事・サービス事業 通期予想 2,400百万円(前期比 △7.7%)

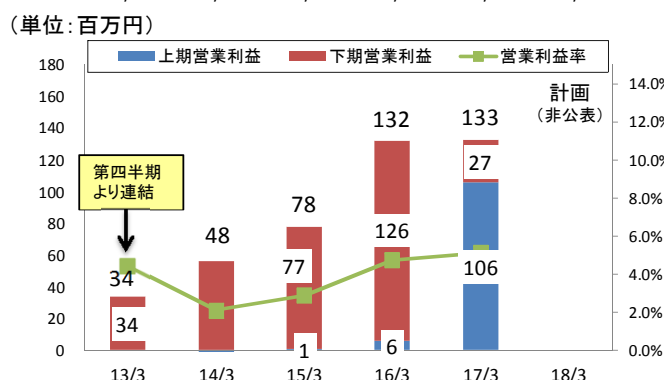


【通期予想】

- ・防災大型案件の剥落により減収計画
- ・主力の電気設備工事・通信設備工事は弱い動き

【取り組み】

- ・電気設備・通信設備工事案件の受注活動強化



【主要グループ会社: 通期見通し】※

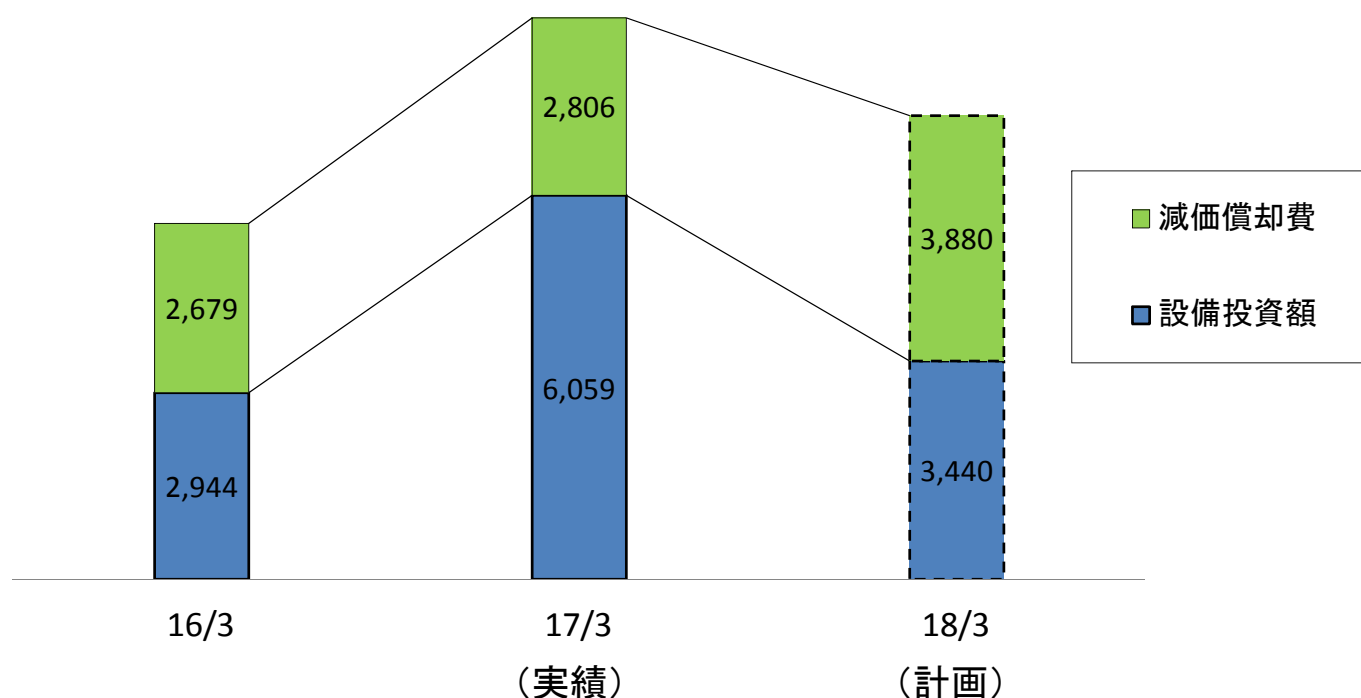
	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	南海電設(株)			小

※本セグメントは南海電設(株)のみ

設備投資額、減価償却費

2017年3月期
通期

(単位: 百万円)



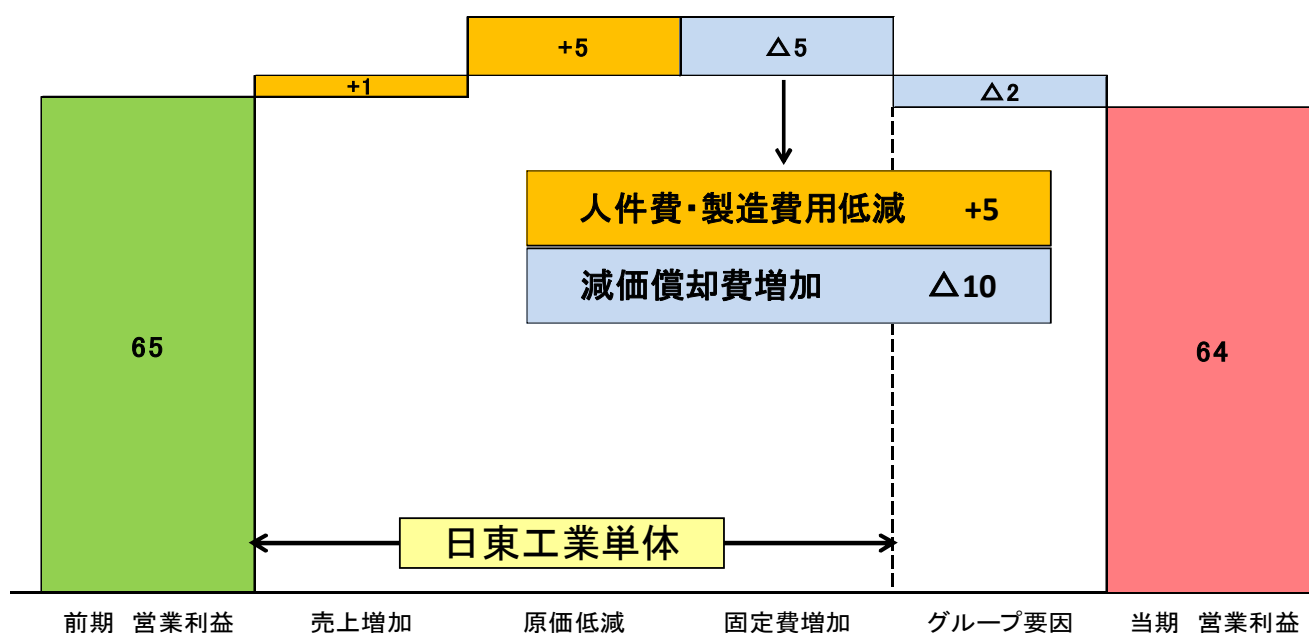
通期連結営業利益の増減要因(今期予想)

2017年3月期
通期

(単位:億円)

【2017/3 実績】

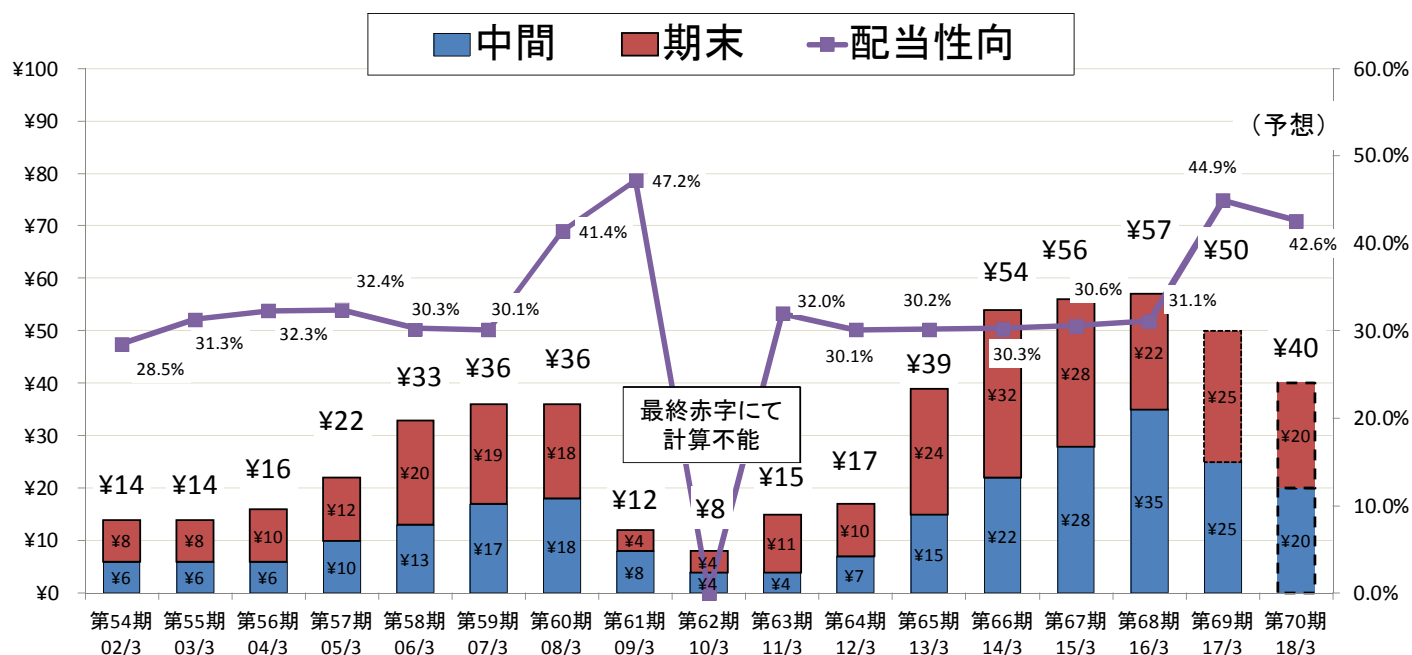
【2018/3 予想】



配当の状況

2017年3月期
通期

- ・ 期末配当金は25円。通期配当額は50円、配当性向は44.9%となる
- ・ 今期(2018年3月期)より、配当方針の変更を行っている
- ・ 配当方針に基づき、中間20円、期末20円の年間40円を見込む



1 2017年3月期 通期決算概要

2 2018年3月期 通期業績予想

3 中期経営計画

4 参考資料

目次

1. 2016中期経営計画の総括

2. 当社のビジネスモデル

3. 長期ビジョン

4. 2020中期経営計画

- ◆ 経営理念
- ◆ 中期基本方針
- ◆ 戦略テーマ [事業戦略／基盤強化戦略]
- ◆ 情報通信関連流通事業
- ◆ 業績目標

1. 2016中期経営計画の総括

2016中期経営計画の総括 業績結果

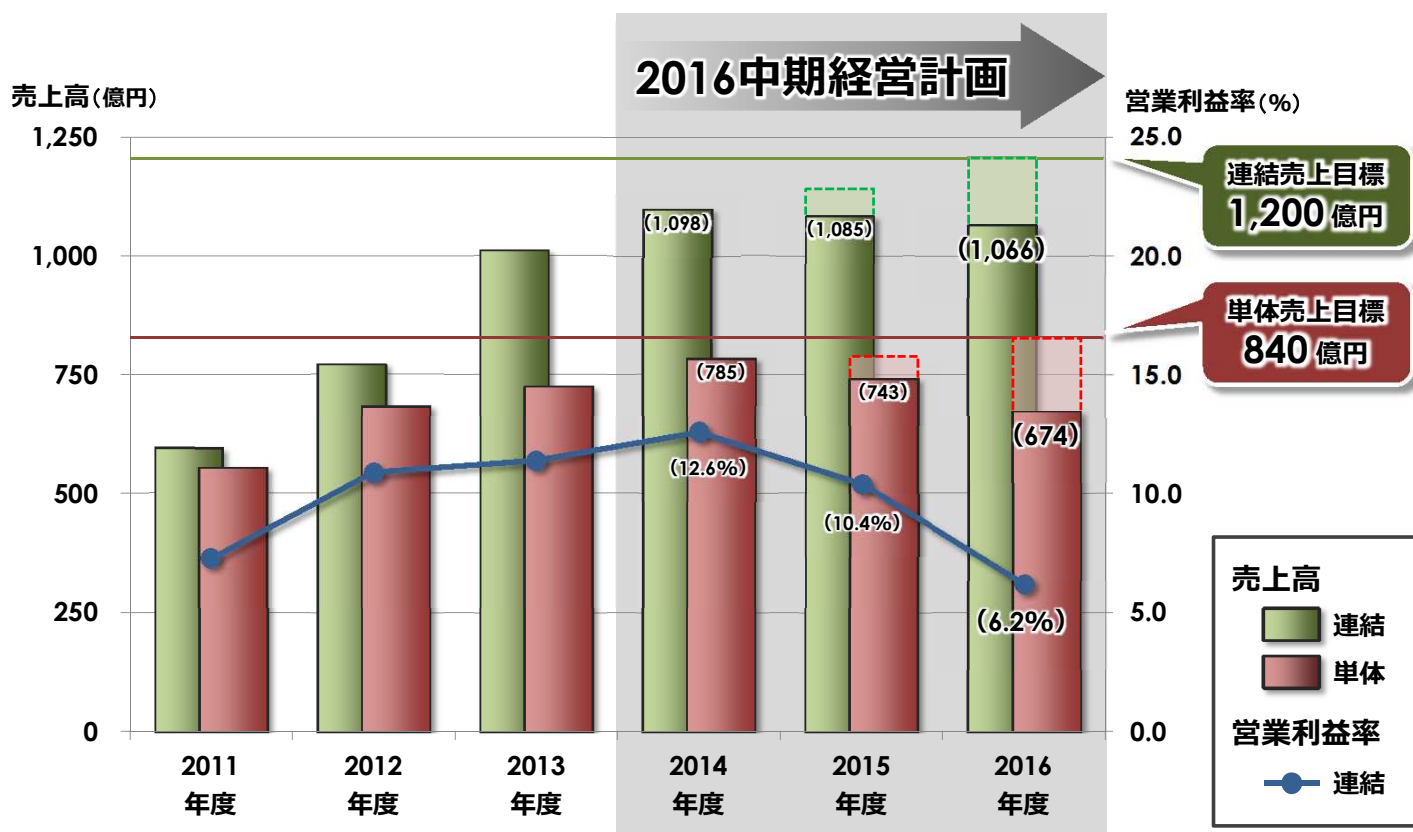
中期基本方針

電気と情報を基盤とする顧客志向企業としての能力を卓越させる

	2016年度 目標	2016年度 実績
連結売上高	1,200億円	1,066億円
連結営業利益	96億円	66億円
連結営業利益率	8.0%	6.2%
単体売上高	840億円	674億円
単体営業利益	84億円	50億円
単体営業利益率	10.0%	7.3%

目標未達

太陽光市場の縮小による単体売上高の減少が、
連結業績に大きく影響を与えた



2016中期経営計画の総括 事業戦略別

ソリューション戦略

信頼される標準品ベースの
ソリューションカンパニーになる

基本方針

- 顧客創造活動の推進
- 流通業化の推進
- サプライヤービジネスの推進

実施内容

- ・ IT技術による差別化施策
- ・ 対応スキル向上

太陽光需要に対する活動に傾注したため
全社一丸の活動は限定的であったものの
サプライヤービジネスについては
一定の成果を得ることができた

オペレーション戦略

現場力を鍛え、品質(Q)・コスト(C)・
スピード(D)で業界No.1になる

基本方針

- 顧客志向の品質価値を追及
- 集中と分散によるコントロール
- 競争力あるリードタイム実現

実施内容

- ・ 品質機能強化、ラーニングセンター開設
- ・ 調達の見える化
- ・ Webを活用した業務の効率化

各種活動は実施はされたものの
完遂するまでには至らなかった
今後も活動を継続する必要がある

◆アライアンス企業の追加

東芝ライテック 住宅用分電盤の受託製造

Panduit 社 ネットワークインフラ向けで業務提携

◆グループ会社の拡充

大洋電機製作所 新たな顧客価値の創出

Gathergates 社 東南アジア市場の強化

◆モーダルシフトの実施

◆西日本物流センター開設

◆菊川ショールーム開設

◆菊川新試験棟建設

◆人事制度改革

◆中国西平工場の売却

モーダルシフト実施例



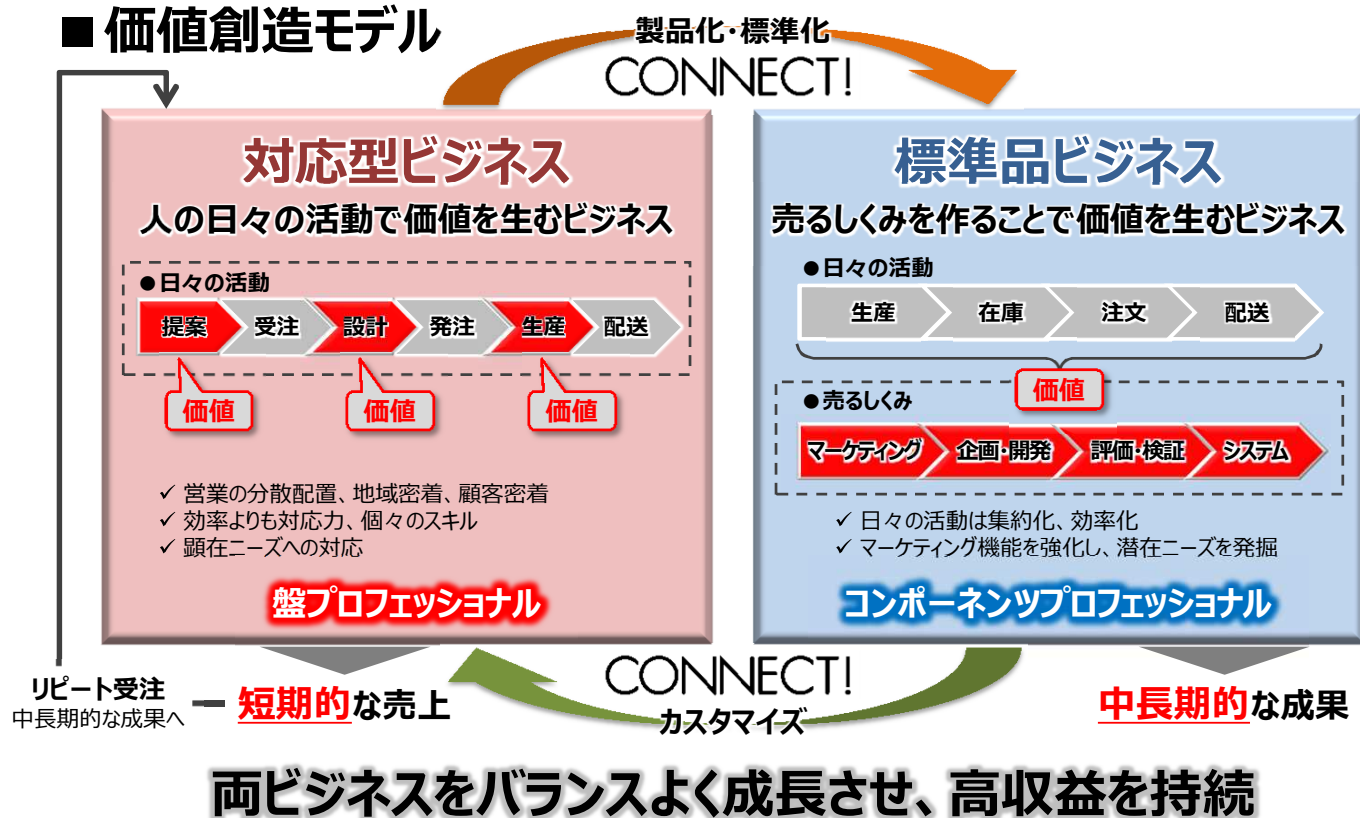
菊川新試験棟



菊川ショールーム

2. 当社のビジネスモデル

■ 価値創造モデル



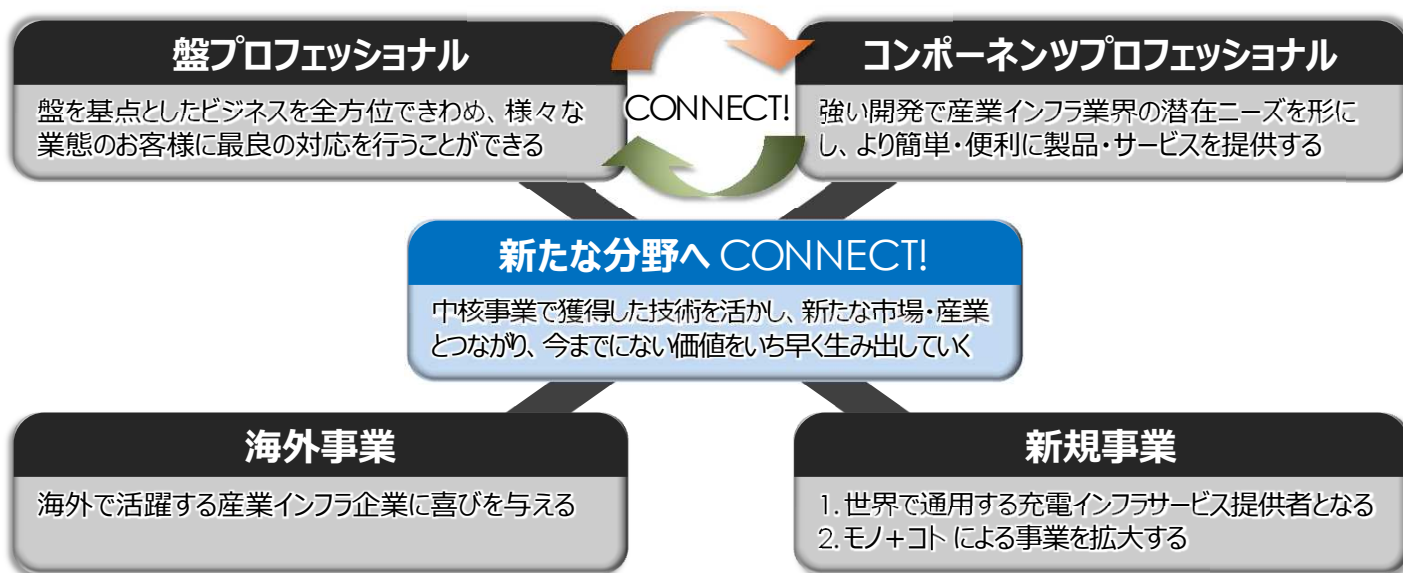
3. 長期ビジョン

長期ビジョン 10年後の目指す姿

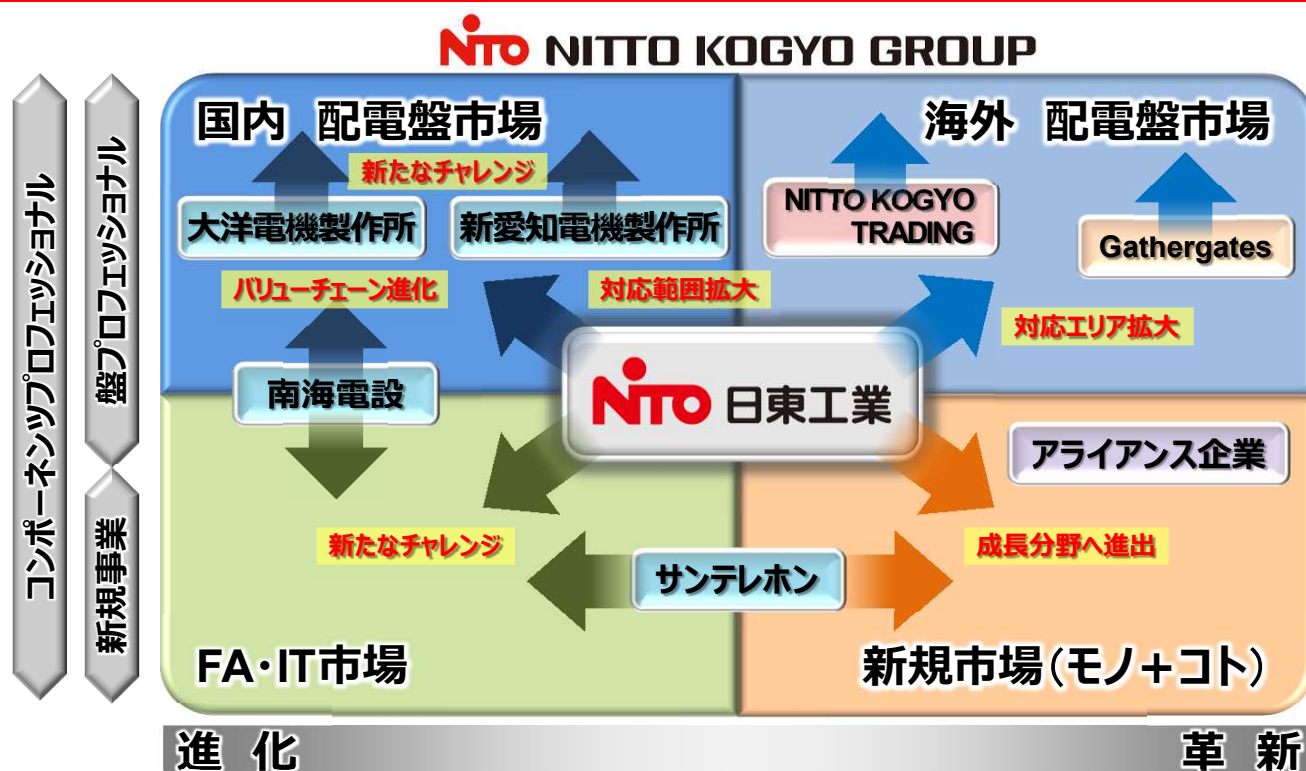
長期ビジョン

信頼、技術、貢献 ～ 電気と情報を明日へつなげる価値創造企業

10年後の目指す姿

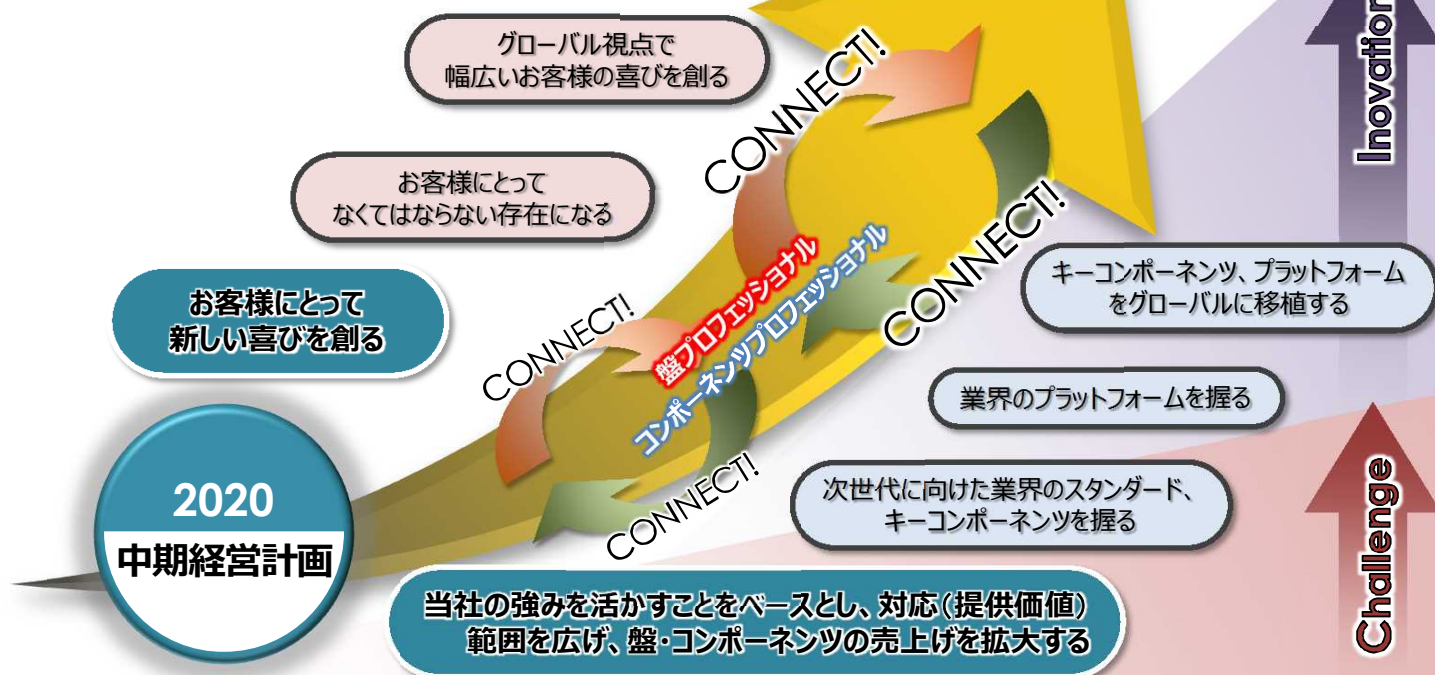


長期ビジョン 事業領域拡大のイメージ



グループ各社のリソースを相互活用し、積極的に事業領域を拡大していく

次世代のビジネスモデル 盤プロフェッショナル・コンポーネントプロフェッショナル 新たな分野へ CONNECT!



4. 2020中期経営計画

社 是

優良な製品を以て社会に貢献し、
生産性向上により会社と従業員の発展繁栄を期する

■ 経営理念 (CSR経営方針)

1. お客様にご満足いただける新たな価値を創造し続けます

➢ 日東工業グループは、お客様にとっての価値を理解し、満足いただける製品やサービスを提供していきます。われわれは価値創造を継続的に行うことにより、お客様との信頼関係を築き、強化していくことを大切にします。

2. 人間尊重の精神に基づいた企業活動を進めます

➢ 従業員一人ひとりの個性を尊重し、能力を生かし、育てることにより、新しい価値を創造する組織への更なる進化を図ります。公正公平な人事評価と適材適所の人材配置により、従業員が職務を通じて自己実現を果たせる会社であることを誓います。

3. 高い倫理観、道徳観に根ざしたコンプライアンス経営を実践します

➢ 日東工業グループは、社会規範に則った公明正大な経営を常に行います。誠実な行動と日々のたゆまぬ努力の積み重ねによって、安全・安心な、より高い品質の製品・サービスを提供します。

4. 美しい地球を次世代へつなぐことに貢献します

➢ 電気と情報を主な事業領域とする日東工業グループは、企業市民として環境保護に努めていきます。また同時に、再生可能エネルギーの活用を促進する技術を通じ、持続可能性を高めることに貢献する価値を創造します。

5. 株主価値を高める経営を常に行います

➢ 過去の成功を守ることや目先の利益を追うことを優先し、未来への投資を後回しにするようなことはしません。株主価値を最大化する中長期的な成長と持続的な利益の創出を経営目標として、変わらず良い会社であり続けるために改善・改革を日々積み重ねます。

2020中期経営計画 中期基本方針

スローガン

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

長期ビジョン

信頼、技術、貢献

～電気と情報を明日へつなげる価値創造企業

盤プロフェッショナル

コンポーネンツプロフェッショナル

新たな分野へ CONNECT!

2020中期経営計画

挑戦 次世代のビジネスモデルへ

2016中期経営計画

顧客志向企業としての能力を卓越させる

実現に向け、柱となる
6つの戦略テーマ

	戦略テーマ	ビジョン
事業戦略	1. コア事業競争力の追求(技術力、製品提案力強化)	
	I 対応型ビジネス [盤プロフェッショナル]	盤関連事業の対応力をきわめ、 頼られるベストパートナーを目指す
	II 標準品ビジネス [コンポーネントプロフェッショナル]	産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる
	2. グローバル化(東南アジアにおける配電盤事業の確立)	
	III 海外事業	海外で活躍する産業インフラ関連企業に 喜びを与える企業になる
	3. 新規ビジネスの展開(新たな技術・企業との融合)	
基盤強化	IV 新規事業	失敗を恐れず、新ビジネス創出に挑戦する
	4. 生産体制・経営基盤の強化	
	V 生産体制強化	お客様に喜んでいただける、品質・コスト・スピードの実現を目指し 改善・改革にチャレンジする
	VI 経営管理基盤強化	日東工業グループの事業戦略を支える 経営管理基盤を確立する

2020中期経営計画 事業戦略

事業戦略

I 対応型ビジネス[盤プロフェッショナル]

盤関連事業の対応力をきわめ、頼られるベストパートナーを目指す

1. 多様化する顧客層、ビジネス形態を満足させる対応力を身に付ける
2. 効率化だけでなく、顧客志向をベースとしたプロフェッショナル集団となる
3. 標準品ビジネスとの連携により価値創造サイクルを活性化させる
4. 日東工業グループの総合力発揮で、対応領域の拡大を図る



事業戦略

Ⅱ 標準品ビジネス[コンポーネントプロフェッショナル]

産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる

1. 時にはお客様を「あっ！」と驚かせる商品を市場へ投入する
2. タイムリーにお客様のニーズに応える商品を市場へ投入する
3. 徹底的にトータルコスト低減を追及する
4. 困難なテーマにも挑戦し内製化率を高める
5. グローバル商品の開発を進める

saver compact



業界
最小 最軽量
スリム3Pブレーカ



KANSHIN
BREAKER



業界初



事業戦略

Ⅲ 海外事業

海外で活躍する産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる

1. 日本で確立したビジネスモデルを海外向けに改良し移植する
(配電盤事業を柱とした標準品ビジネスの構築)
2. タイムリーにお客様のニーズにあった海外向け商品を市場へ投入する
3. 徹底的にトータルコスト低減を追及する
4. お客様に頼られるメーカへ早期に成長する

日本

NITTO 日東工業

- 安定品質
- 生産技術力
- 量産生産力
- 効率的販売システム

移植

東南アジア圏

NITTO
NITTO KOGYO
TRADING

Gathergates
Power Up Your World

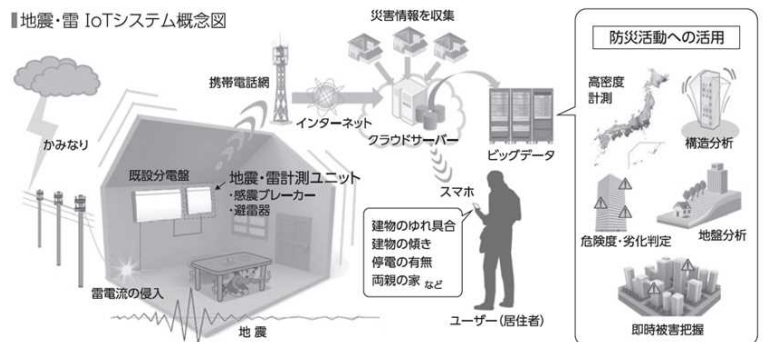
ELETTO

事業戦略

Ⅳ 新規事業

失敗を恐れず、新ビジネス創出に挑戦する

1. 日東工業グループの経営資源や強みを活かし、
既存の事業・製品に新しい何かをプラスすることで領域拡大を図る
 - i) 充電器販売に課金・保守サービスをプラス
 - ii) 既存製品群[モノ]に「コト」をプラス
 - iii) 既存製品群に新テクノロジー(IoT・AI・EMSなど)をプラス
2. 前項の活動の中で新ビジネスの足掛かりをつくる



基盤強化

Ⅴ 生産体制強化

お客様に喜んでいただける 品質・コスト・スピードの 実現を目指し、改善・改革にチャレンジする

1. お客様視点で常に考える
2. 品質 社員の品質意識の醸成と、あるべき品質保証体制を構築する
3. コスト コストに対する意識改革を行い、改善活動の活性化による生産性向上を図る
4. スピード 標準品は更に磨きをかけると共に、
個別品も標準品のごとく生産する体制を構築する

基盤強化

Ⅵ 経営管理基盤強化

日東工業グループの事業戦略を支える経営管理基盤を確立する

1. グループ戦略に必要なヒト・モノ・カネ・情報が適切に確保され、効率的に活用されている
2. 社員一人ひとりが日東工業グループの一員であることを誇りに感じる環境を構築する



■ ビジネスビジョン

情報通信関連商社のリーディングカンパニーとして
戦略的に拡大成長へと転換を図る

基盤事業

さらなる基盤強化の追及と、拡大余地を見極め、得意先・拠点戦略を実行

成長事業

成長3分野[セキュリティソリューション・再生可能エネルギー・通信キャリア]
への拡販に向け、経営資源を投入

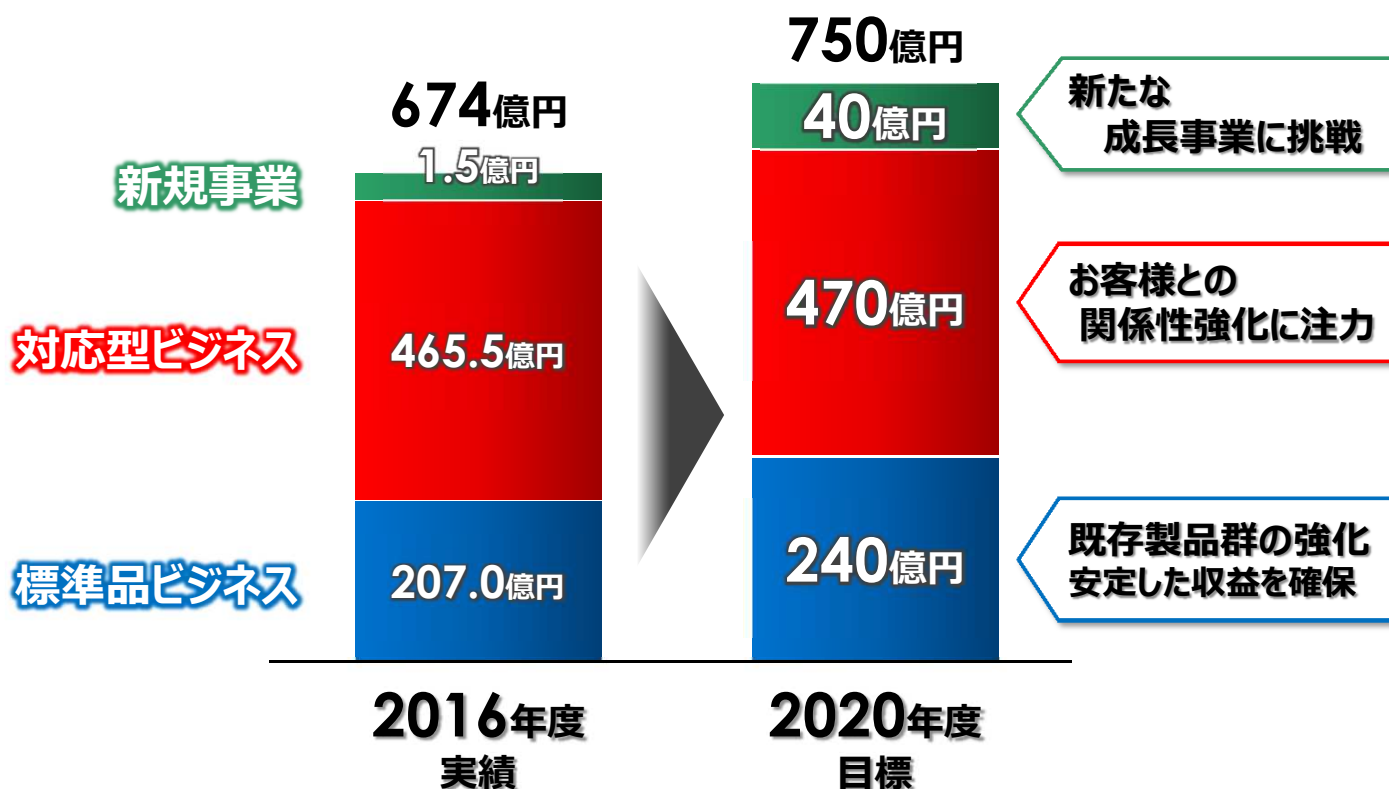
次世代事業

海外などの新規事業基盤の創造や、Web活用による販売戦略など 付加価値を増強

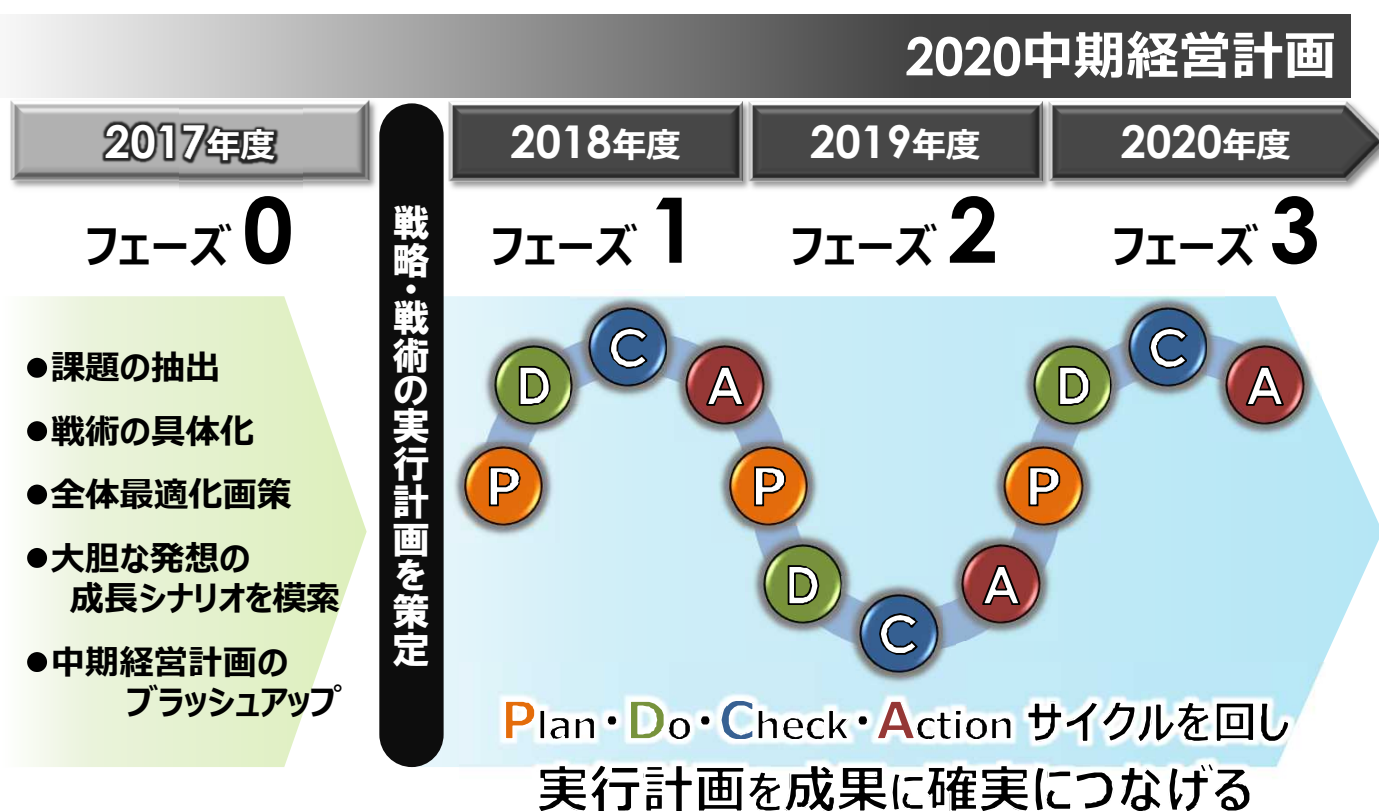
2020中期経営計画 業績目標

(単位: 億円)

	2016年度 実績	2020年度 目標
連結売上	1,066	1,250
(内 単体売上)	674	750
対応型ビジネス	465.5	470.0
標準品ビジネス	207.0	240.0
新規事業	1.5	40.0
(内 情報通信関連流通事業)	(305)	(350)
(内 海外事業)	(40)	(70)
連結営業利益	65	100
(内 単体営業利益)	50	75



2020中期経営計画 4カ年計画



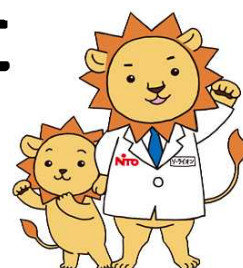
ご清聴ありがとうございました

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

NITO 日東工業株式会社

証券コード: 6651



目次

1 2017年3月期 通期決算概要

2 2018年3月期 通期業績予想

3 中期経営計画

4 参考資料

事業セグメント：配電盤関連製造事業

2017年3月期
通期

■分・配電盤、制御盤等の設計、製造、販売事業

事業区分	部門	主要製品・事業
配電盤関連製造事業	配電盤	高圧受電設備、分電盤、ホーム分電盤、光接続箱
	キャビネット	金属製キャビネット、樹脂製ボックス、システムラック等
	遮断機・開閉器	ブレーカ、開閉器等
	パーツ・その他	熱関連機器、パーツ、充電スタンド等

配電盤



高圧受電設備



配・分電盤



ブレーカ



パーツ・その他



パーツ



充電スタンド

キャビネット



キャビネット



システムラック

事業セグメント：情報通信関連流通事業

2017年3月期
通期

■情報通信機器および部材の仕入、販売

主要グループ会社	主要製品・事業内容
サンテレホン株式会社	情報通信機器の仕入、販売
NITTO KOGYO TRADING(THAILAND)CO.,LTD	当社製品の輸入品販売および現地生産品販売 日本・海外企業製品の仕入販売

ネットワークカメラ



それぞれのシステムに合わせた最適な監視システム機器の仕入、販売

情報セキュリティ関連製品



様々な情報リスクに対して対策を講じる、トータルセキュリティ機器の仕入、販売

高速ネットワーク機器



無線・有線を効率的に使い分けた通信インフラの構築機器の仕入、販売

■電気設備、ネットワークシステムの設置、保守等の工事業

主要グループ会社	主 要 製 品 ・ 事 業 内 容
南海電設株式会社	情報通信ネットワーク事業、電気設備事業等

情報通信ネットワーク事業



電話設備、放送設備、
セキュリティ設備、LAN
配線などの通信設備
工事

電気設備事業



受電設備、計装設備、
照明設備、電源コンセ
ント、空調設備等の電
気設備工事

その他



- EV・PHEV用充電スタンドの保
守・メンテナンス
- 緊急地震速報設備の設置、配信
サービス、メンテナンス

など

事業内容（3つの事業セグメント）のご紹介

配電盤関連製造事業が売上の7割、利益の8割以上を占める

工事・サービス事業

- 電気設備・ネットワークシステムの
設置・保守等の工事業

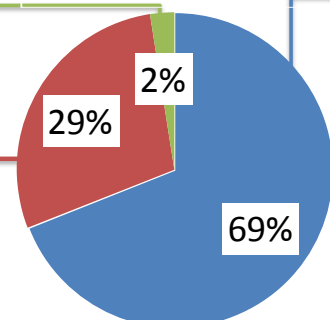


情報通信関連流通事業

- 情報通信機器および
部材の仕入れ・販売等



＜売上比率イメージ＞

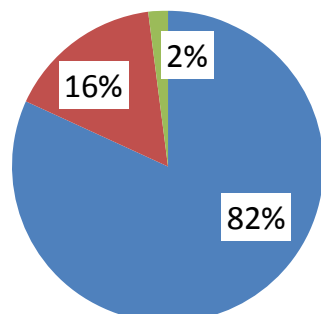


配電盤関連製造事業

- 分・配電盤、制御盤等の
設計、製造、販売事業



＜営業利益比率イメージ＞

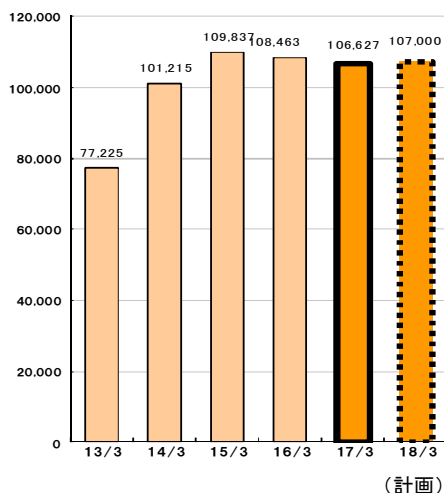


（2017/3月期 実績）

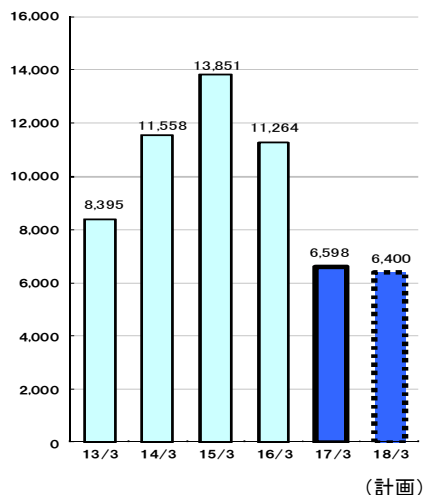
過去5年 連結経営成績

2017年3月期
通期

■ 売上高

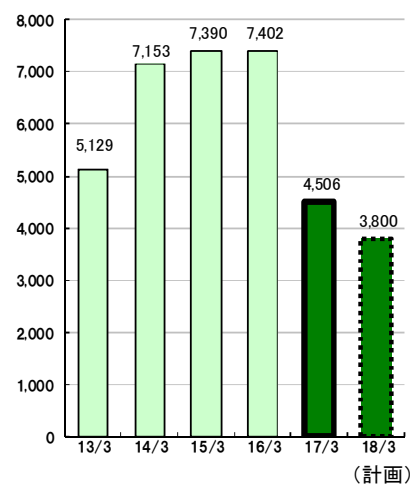


■ 営業利益



■ 当期純利益

(単位:百万円)



	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3(計画)
売上高	77,225	101,215	109,837	108,463	106,627	107,000
営業利益	8,395	11,558	13,851	11,264	6,598	6,400
当期純利益	5,129	7,153	7,390	7,402	4,506	3,800

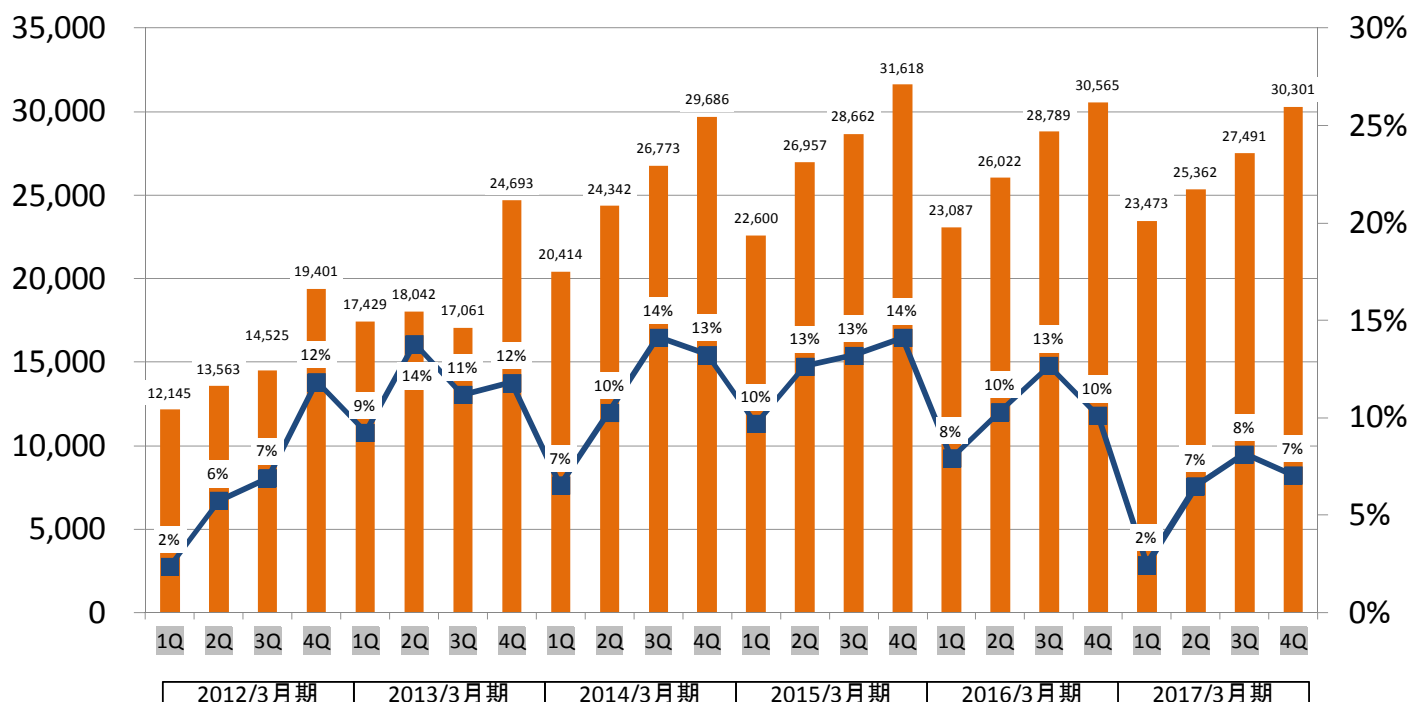
連結売上高の推移(四半期)

2017年3月期
通期

(単位:百万円)

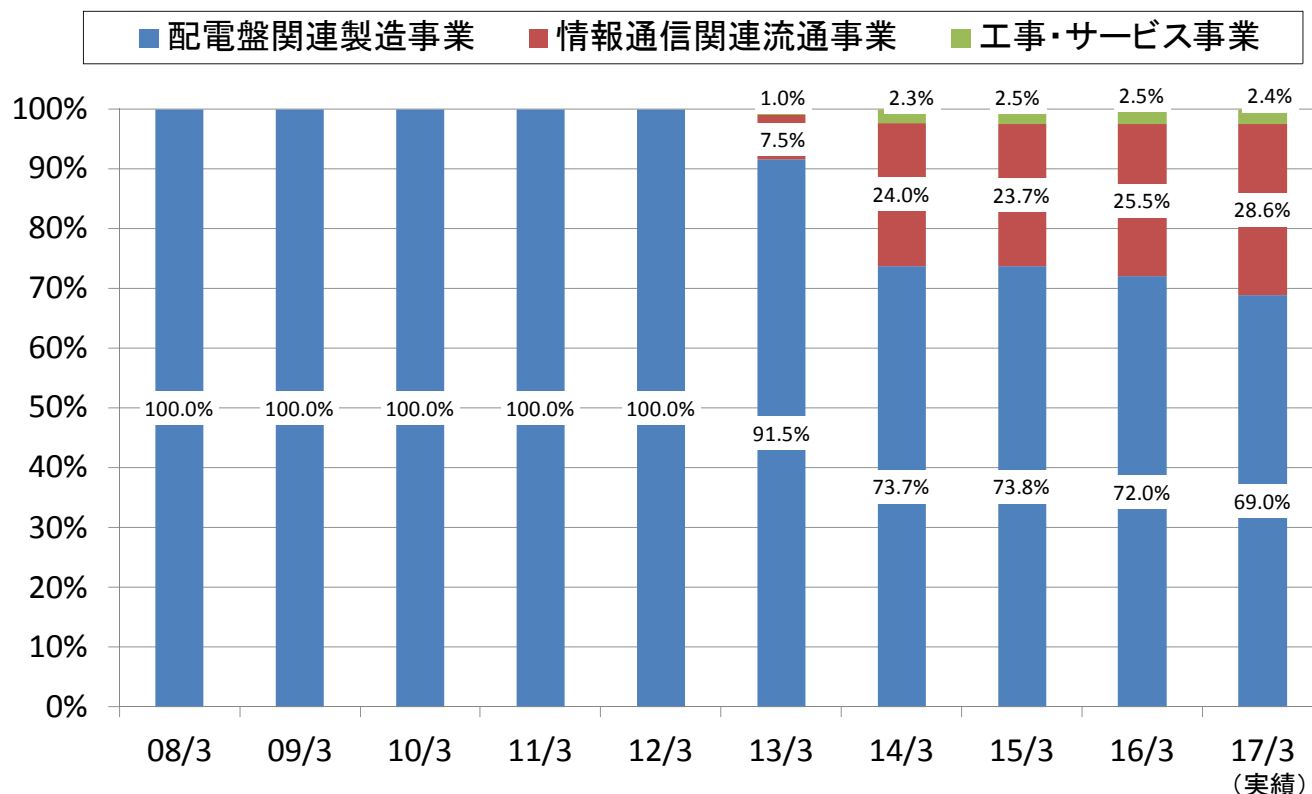
■ 全体の売上高

■ 営業利益率



事業セグメント別 売上高構成比

2017年3月期
通期



四捨五入の関係で数値の合計が一致しないことがあります。

セグメント別 売上高の推移(四半期)

2017年3月期
通期

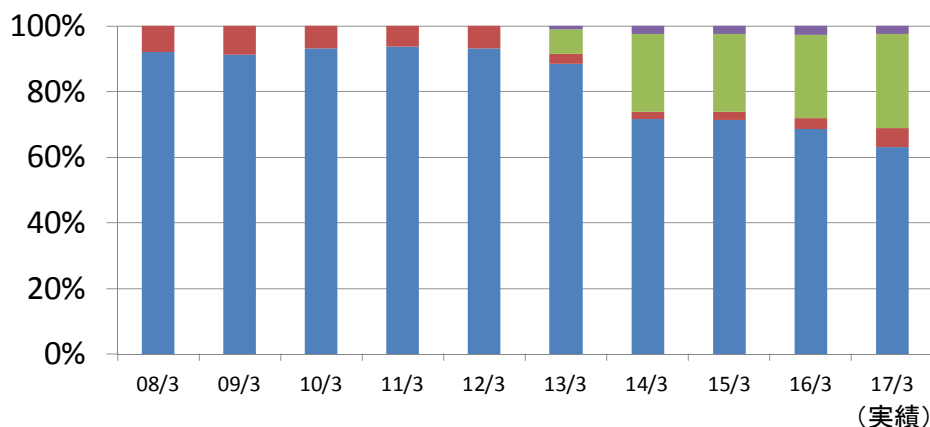


グループ連結状況(2015/3月期～)

2017年3月期
通期

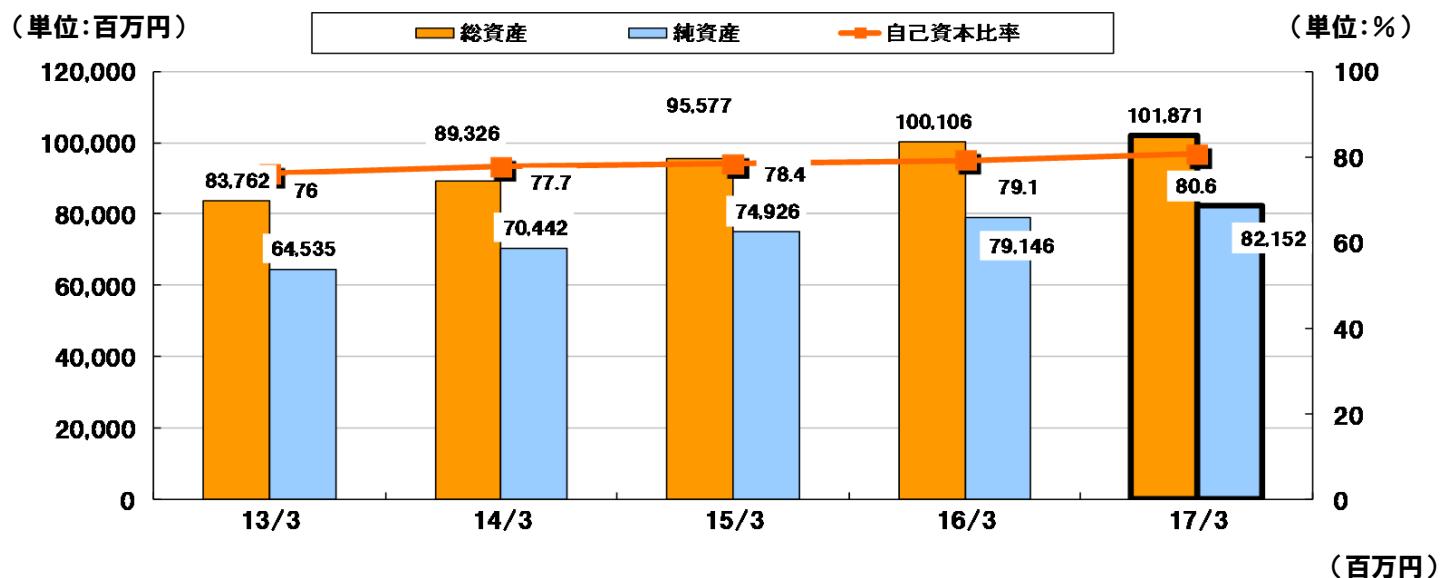
【新規連結会社】	2015/3月期				2016/3月期				2017/3月期			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
株式会社新愛知電機製作所	※											
株式会社大洋電機製作所												
NITTO KOGYO TRADING												
Gathergates Group Pte Ltd												

● : B/Sのみ連結 ※株式100%取得

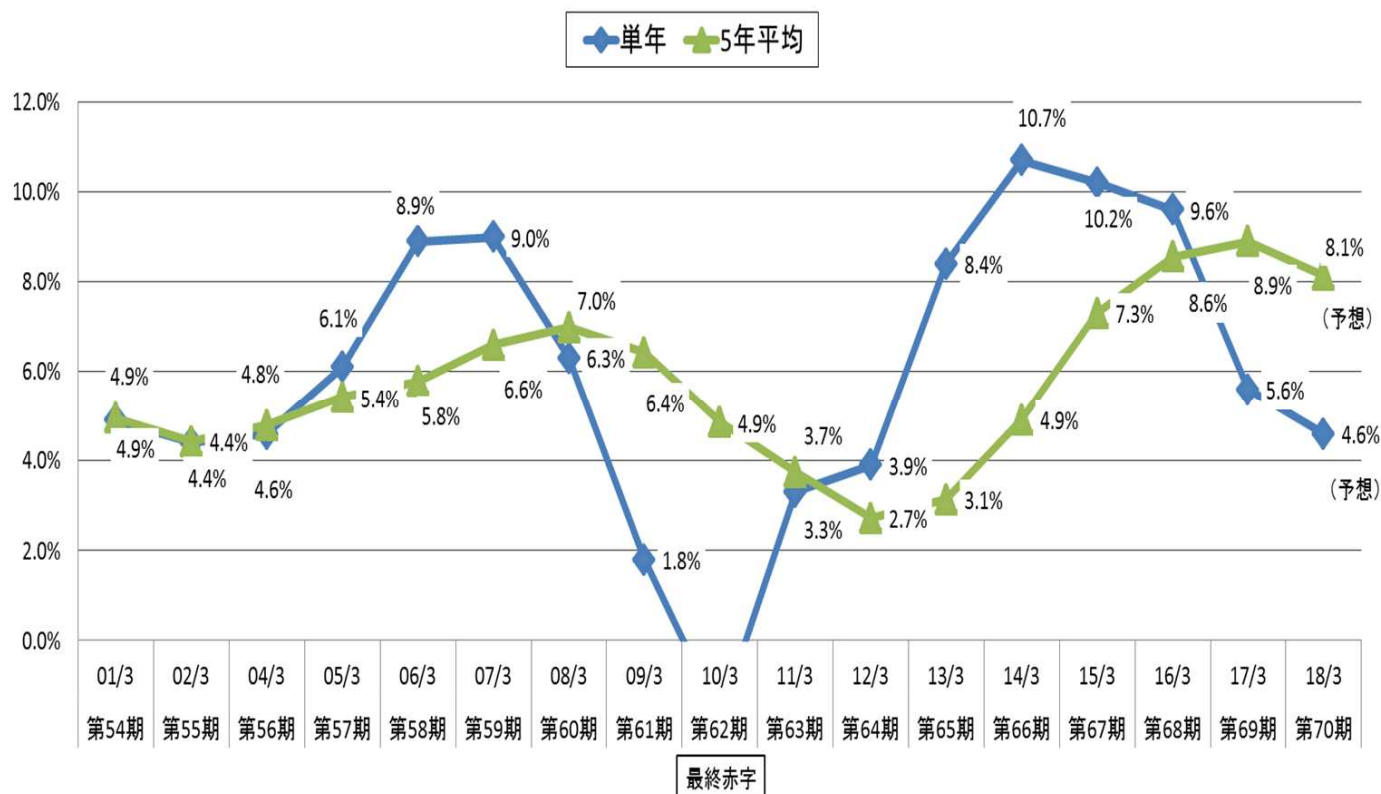


総資産・純資産・自己資本比率

2017年3月期
通期

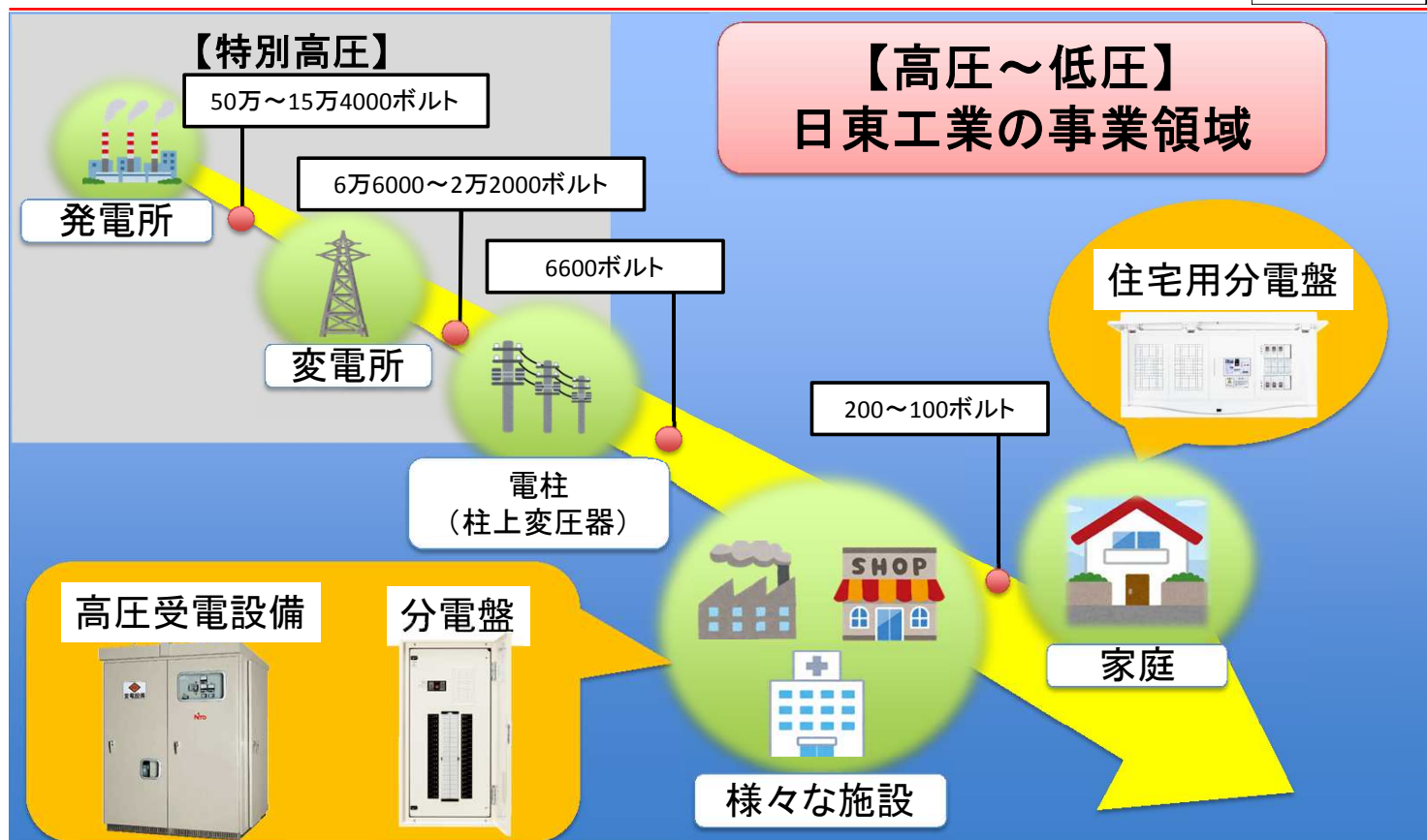


	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3
総資産	83,762	89,326	95,577	100,106	101,871
純資産	64,535	70,442	74,926	79,146	82,152
自己資本比率	76.0%	77.7%	78.4%	79.1%	80.6%



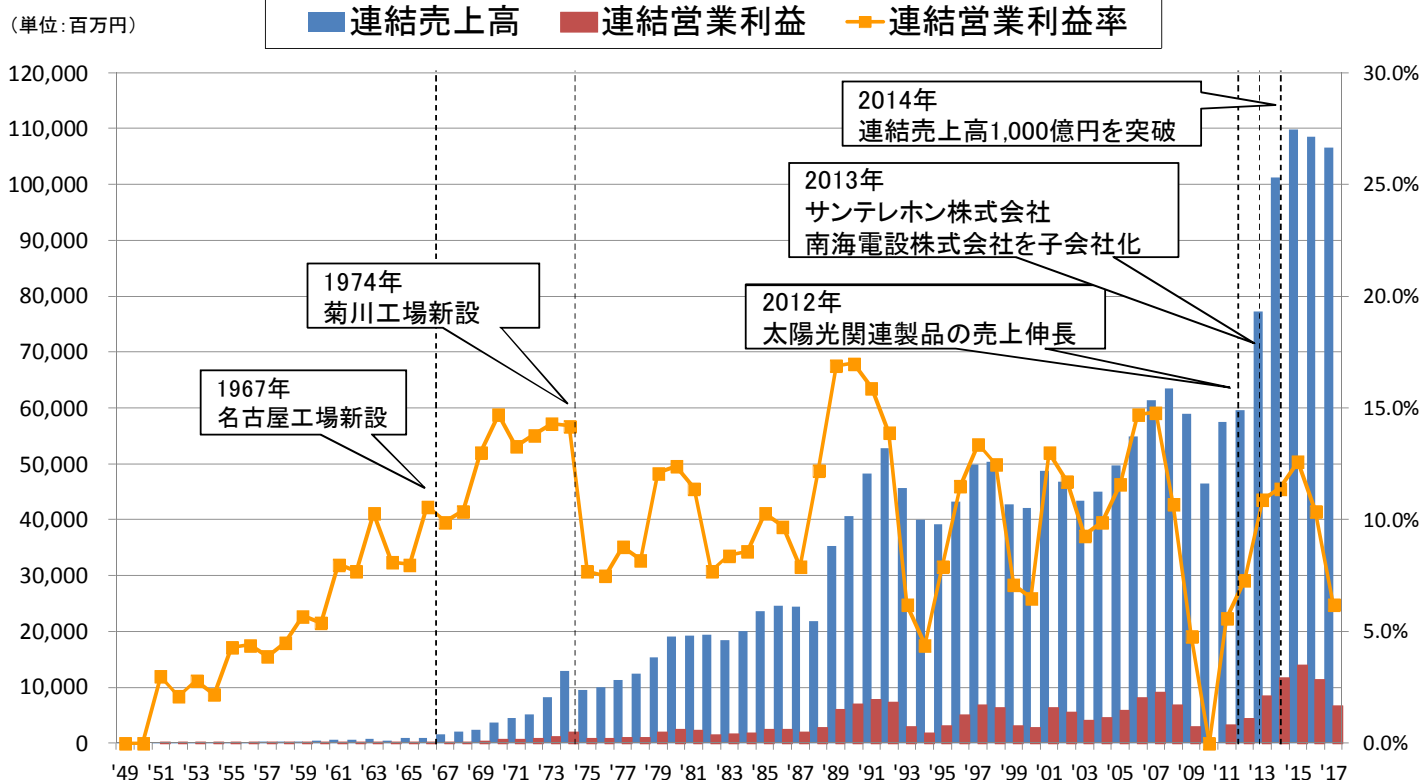
当社配電盤・分電盤の利用領域: 簡略イメージ図

2017年3月期
通期



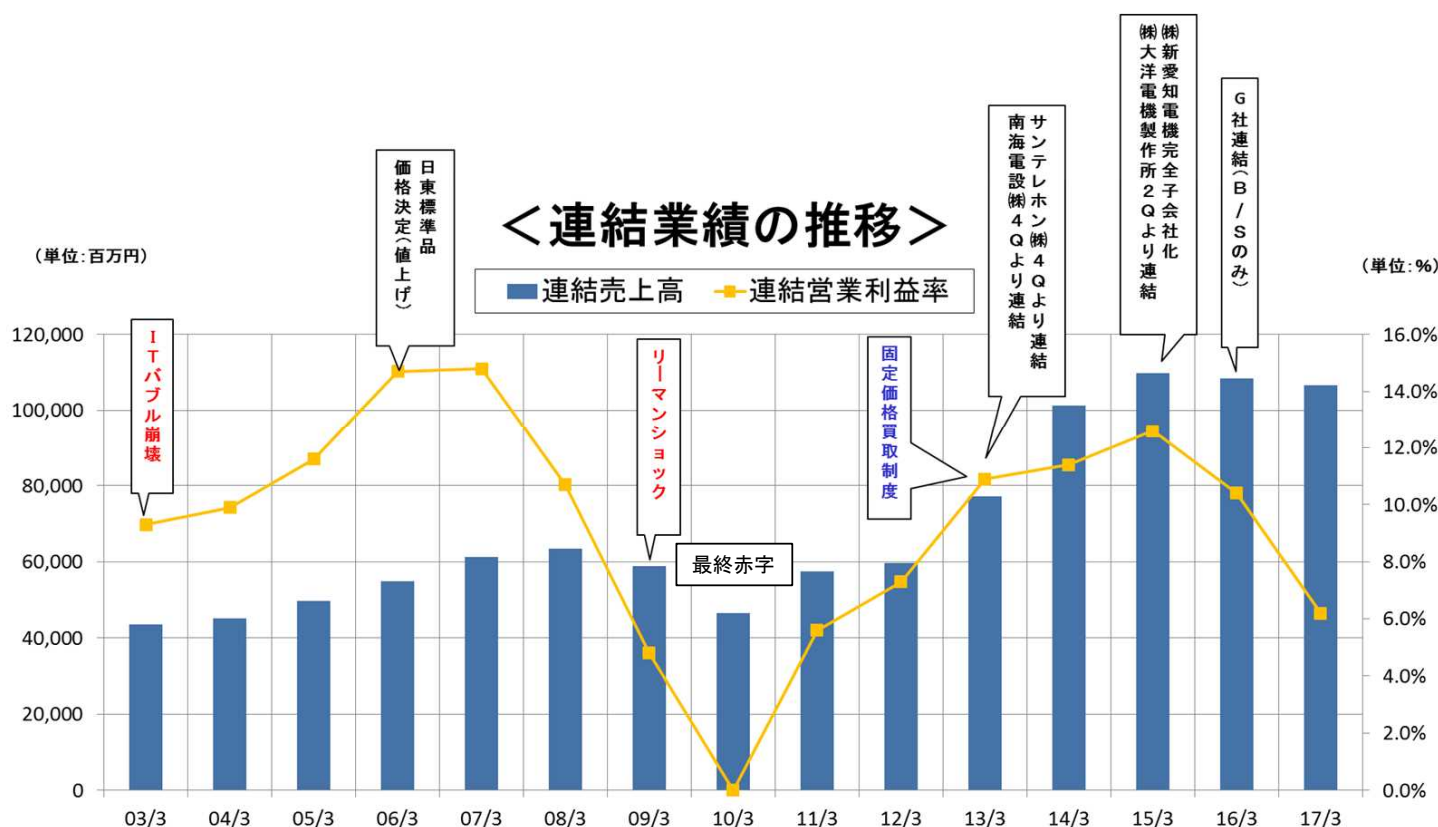
業績推移 設立～現在

2017年3月期
通期



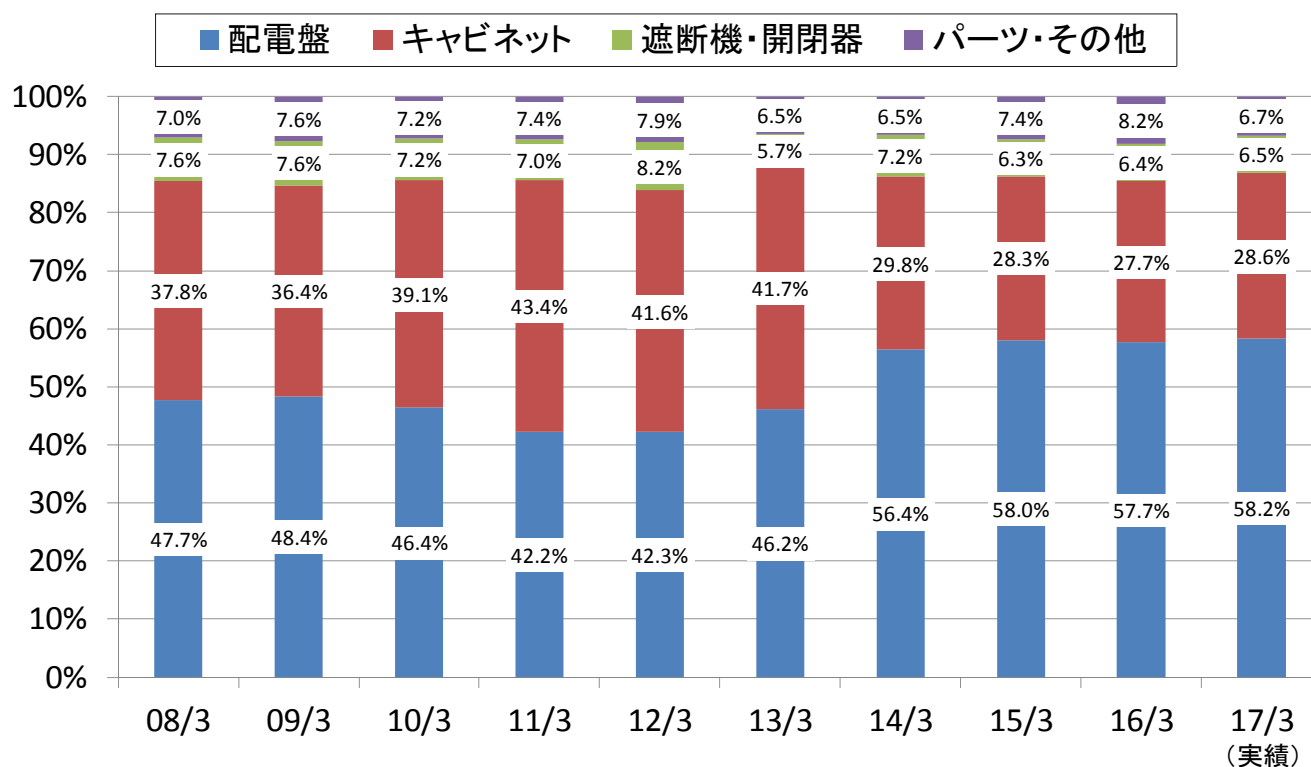
業績推移 2003/3月期～現在

2017年3月期
通期



配電盤関連製造事業(部門構成比率)

2017年3月期
通期



四捨五入の関係で数値の合計が一致しないことがあります。